

取組名称	持ち出さない、持ち込まない、そこにある土砂を資源化			団体設立後の経過年数	23年
応募取組主体名称	インバックスグループ		活動地域	日本全国	応募取組の活動年数
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / <input type="checkbox"/> その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域プランディング賞 / 環境ひとつくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨

近年、多発する台風や豪雨、地震などによる大規模災害が世界的に頻発しています。これらの災害では多くの瓦礫や土砂が発生すること、また災害復旧工事において多くの建設土砂が発生するため、その処分にも苦慮しています。私達はこれら災害によって発生した土砂を用途に適した品質にコントロールする私達の技術によって、新たな建設資材として資源化し、レジリエントなまちづくりを推進する取組みを行っています。

実績の要旨

私達の技術は多くの土砂災害の復旧対策に採用され、現在、全国で約1,000件以上の公共事業において実績があります。採用の理由は、現地土砂の利活用により、CO₂排出や騒音・振動・粉塵を減らし環境負荷を低減、限りある資源の有効活用、地域内完結の循環型社会の形成＆地域活性化、資材調達/運搬/残土処分費用の削減の効果が明確だからです。また、私達の取組は、参画する全てのステークホルダーのSDGs達成に寄与しています。

取組評価の要旨	環境への貢献	セメント利用量や運搬量の削減によるCO ₂ 排出量の削減、建設発生土砂の廃棄処理削減による生態系の保護。
	社会・経済への貢献	地域内の産業創出、雇用確保、技術革新による生産性の向上、地域力・災害に対する適応力の向上等によるレジリエントな街づくりに貢献。
	地域資源の活用	地域内で発生するあらゆる土砂を私達の技術で建設資材として資源化し、インフラ整備の拡充のために活用。
	普及・汎用性	取組みそのものがSDGs達成につながる活動となっており、活動を推進するステークホルダーのSDGs達成参画に寄与すること。
	革新・ユニーク性	世界中どこにあても資源（土砂）の活用を主体とし、それを人々の暮らしに必要となるインフラ整備の拡充に利活用すること。
	継続性	地域に適応した資源（人、モノ、方法）を有効活用して、その資源を活用する地域に根づいた仕組みづくりを推進すること。

展望の要旨	資源の有効活用×人々が豊かになる仕組みづくりの実現をすることで地域に根づいたレジリエントなまちづくりに貢献していきます。
-------	--------------------------------------------------------------